工場主人、葺合分工場主人ヲ出シタルニ過ギズ入場者ハ詳意事ヘ從ヘモ
中ニハ四五名宛自會雑誌ニ耽ル者アリ争議團ノ間諜トモ認ム
ヘキ者アリテ會社側ハ發見シテ退場ヲ命シ居レリ
一方罷工團側ハ形勢益々非ナルヲ知リシカ検田東トシテ前記未各
職工自宅ヲ訪問シ罷工継續宣傳印刷物ヲ配付シ反死轉化偏
動ノ迷夢ヨリ醒メ萬難ヲ排シテ就職セントスル者アリ加フルニ
ニ行商隊ノ實施モ成績思ハシカラズ、僅志ノ足ナルニモ不拘陳前
職工ハ徹底的ニ罷業ヲ継續セントシ團結ノ固持ニハ数次ノ會
合ニ如カズトシ毎日数ケ所ニ演説會ヲ催セリ、然ルニ予戒令ヲ事
業出ノ為業第一ニ畫キ竟ニ外社参拝ヲ企テ廿八日ヨリ實
行セントシタノ掲示ヲナスト共ニ職工各自ニ通知シタリ

急告

兄弟ハ目早醒ルヘキ秋ナリ天地ノ神々ニ祈願スルノ

外十二

廿八日午前七時長田神社ニ参拝シテ解散

川崎争議團本部

葺合分工場ニ於テハ殆ト平常ト異ナラサル出勤率ヲ示シ作業
能率亦復舊ノ域アルカ其ノ後硬派トモ認ムヘキ川崎本社争議團
トノ系統的干係アル若林清兵外十九名ハ向上會事務所ニ會合
出勤ノ可否ニ付協議シタルニ争議團ト提携ヲ斷ツニ決
シハ出勤シ難シト云フ者多カリキ此ノ右代表者タル宇間次郎
吉ハ分工場ノ事務所ニ主任ヲ訪ヒ條件出勤ヲ請ヒタルニ會
社ハ目下審議中ナルカ明日ノ出勤者ニ対シテハ社則ニ依リ解
雇スルヤモ難計其旨承知アリタシト回答ヲナセリ當惑
セル同人ハ之ヲ全會ニ報告シタルニ彼等ハ進退谷マレリトナシ